

〈ディプロマポリシー〉

1	思いやりの心を持って、学びの意欲を高めることができる
2	21世紀の教養を身につけ、広い視野と将来の見通しを持って社会とかわることができる
3	社会に生きる人材として、多様な知識や技術、感性を身につける

〈ミドルレベルディプロマポリシー〉

ライフデザイン学科では、学びの分野ごとに、ディプロマポリシーの下位にミドルレベルディプロマポリシーを作成している。

【分野】

ライフデザイン

1-1	建学の精神に通じる思いやりの心を身につける
1-2	学びの基礎の学習を通して、学びの楽しさを理解する
2-1	生涯にわたり、自ら持続的に学ぶ姿勢を身につける
2-2	現実の中に問題を見つけ、自ら答えを見つけた姿勢を身につける
3-1	能動的な学びを通じて、チームの一員として活動することができる
3-2	学んだ手法を社会の様々な局面で活かせる応用力・展開力を身につける

コミュニケーション

1-1	思いやりの心を持って他者と接することができる
1-2	他者と交流することの楽しみ、喜びを知ることができる
2-1	多様な心の在り方と表現を理解することができる
2-2	現代社会の諸問題を理解し、より良い社会の在り方を考えることができる
3-1	他者と円滑な関係をとるための知識と技法を身につける
3-2	社会生活に必要な、傾聴力、発信力、働きかけ力を身につける

社会を学ぶ

1-1	世の中のできごとを、社会の一員として共感を持って受け止める
1-2	社会を深く学ぶことが、自立につながる人生を豊かにすることを知る
2-1	世の中のさまざまな仕組みや動きなどを、幅広く理解する
2-2	何が問われているのか、何が大切なかを、しっかり把握し判断できる
3-1	自立した社会人として必要な知識と感性を身につける
3-2	社会の一員として、主体性を持って責任ある行動や発言ができる

ビジネス基礎

1-1	TPOIに応じた適切な行動・態度を身につける
1-2	社会で活躍しようとする高い志をもつことができる
2-1	ビジネス社会におけるさまざまなルールやマナーを理解する
2-2	女性を取り巻く現代社会の諸問題を理解し、より良い社会の在り方を考えることができる
3-1	社会人として必要な基礎学力を身につける
3-2	自らのキャリアデザインを実現するための応用力を身につける

情報基礎

1-1	適切な情報倫理を身につける
1-2	意欲をもってICTの学習にとりくむことができる
2-1	ICT機器やアプリケーションの仕組みについて理解する
2-2	21世紀におけるICTの課題を理解し、これからの可能性を考えることができる
3-1	生活の中でパソコンを活用することができる知識と技術を身につける
3-2	ICTを活用した課題発見力・情報発信力を身につける

グローバル

1-1	自らが世界とつながっていることを実感し、世界のできごとに関心できる
1-2	国際社会の一員であることを自覚し、世界についての認識を高める
2-1	国際社会の動きや仕組みなど、世界に関する基礎的な知識を幅広く身につける
2-2	世界で何が問われているのか、何が大切かを、しっかり把握し判断できる
3-1	グローバル社会の一員として必要な知識と感性を身につける
3-2	多様な人々とともに生きていくために必要な柔軟性と実行力を身につける

ファッション

1-1	着る人の立場に立って、よりよい衣生活環境の実現を考えることができる
1-2	おしゃれを通じた楽しみ、喜びを知ることができる
2-1	装い文化の多様性とファッションの変遷を理解する
2-2	現代のアパレル産業が持つ課題を認識して、持続可能な社会の実現に視点を向けることができる
3-1	ファッションビジネスに関わる基礎知識と簡単な技術を身につける
3-2	ファッションビジネス分野における簡単な企画提案ができる

ブライダル

1-1	結婚式に関わるあらゆる人たちとのつながりを大切に、結婚式に込められた思いに共感できる
1-2	ブライダルプロデュースを通して、新郎新婦をサポートする喜びを知ることができる
2-1	婚礼の歴史と慣習について理解する
2-2	21世紀におけるブライダルビジネスの課題を理解し、これからの可能性を考えることができる
3-1	人生の一大イベントである結婚式をプロデュースするための知識と技術を身につける
3-2	ブライダルビジネスで必要とされるコミュニケーション能力、企画提案力を身につける

フード

1-1	食べる人の立場に立って、健康的な食生活の実現を考えることができる
1-2	食事作りを通じた楽しみ、喜びを知ることができる
2-1	食文化の多様性と食の歴史を理解する
2-2	21世紀におけるフードビジネスの課題を理解し、これからの可能性を考えることができる
3-1	くらしを彩る食生活を実現するための知識と技術を身につける
3-2	フードビジネスにかかわる企画提案力、コーディネート力を身につける

インテリア

1-1	住まいの立場に立って、よりよい住環境の実現を考えることができる
1-2	インテリアを彩る楽しみ・喜びを知ることができる
2-1	住まいの歴史の変遷、世界の住文化の多様性を理解する
2-2	住まいを取り巻く社会問題を理解し、これからの課題と解決策について考えることができる
3-1	適切なインテリアを発想するための知識、技術、感性を身につける
3-2	インテリアにかかわる企画提案力、コーディネート力を身につける

デザイン企画

1-1	人々が幸せと喜びを感じるデザインを考えることができる
1-2	デザインを通して、創造する楽しさ、喜びを感じることができる
2-1	時代の変化にともなったデザインの変遷と発展を理解することができる
2-2	社会におけるデザインの役割と、これからの時代におけるデザインの理想像を描くことができる
3-1	創造性の高いデザインを考えることができ、それを創り上げるスキルをもつことができる
3-2	新しい商品やサービスを生み出すための課題発見力や創造力を身につけることができる

医療事務	1-1	患者に対する医療事務の重要性を理解し、思いやりの心を持って患者に接遇できる
	1-2	医療事務の現状に関心を持ち、常に意欲をもって自らの知識・技能を更新できる
	2-1	日本の医療制度のしくみと特徴を理解できる
	2-2	社会問題の1つとして、医療・保険・介護の問題を捉えることができる
	3-1	医療事務に携わるために必要な知識と技術を身につける
	3-2	医療分野のチームの一員として貢献できるチームワーク力を身につける
エンターテインメント	1-1	エンターテインメント作品を楽しむ人の立場に立って、よりよいエンターテインメントを考えることができる
	1-2	エンターテインメント作品を通じた楽しみ、喜びを知ることができる
	2-1	エンターテインメントの多様性とその変遷を理解する
	2-2	社会生活の充実を目指したエンターテインメント業界の課題を理解し、今後の可能性を考えることができる
	3-1	社会生活を楽しむエンターテインメントを実現するための知識と手法を身につける
	3-2	エンターテインメントビジネスにかかわる創造力、柔軟性を身につける
観光	1-1	観光を通じて、ホスピタリティの大切さを知ることができる
	1-2	旅にある癒しや楽しさを伝えることができる
	2-1	観光の歴史、現状を理解し、将来の展望を考えることができる
	2-2	観光を通して環境問題など社会が抱える諸問題を考えることができる
	3-1	時代にふさわしい観光を実現するための知識と技術を身につける
	3-2	さまざまな趣向・目的に応じた観光を提案するための情報収集力と企画力を身につける

＜カリキュラムマップ＞

ライフデザイン学科 ディプロマポリシー			1 思いやりの心を持って、学びの意欲を高めることができる			
			2 21世紀の教養を身につけ、広い視野と将来の見通しを持って社会とかかわることができる			
			3 社会に生きる人材として、多様な知識や技術、感性を身につける			
科目名	単位	配当年次	科目の到達目標	ディプロマポリシーの項目番号		
				凡例	◎:DP達成のために特に重要な目標	○:DP達成のために重要な目標
				1	2	3
仏教の人間観Ⅰ	2	1	1 テキストに書いてあることを正確に理解することができる	◎		
			2 釈尊の生き方を「過去の偉人の伝記」として消化するのではなく、現代の問題や自分自身の生き方ともリンクさせて理解することができる		◎	
			3 理解した内容を正確に説明することができる			◎
仏教の人間観Ⅱ	2	1	1 仏教をはじめとする複数の人間観を学び、自分の在り方が他者との関係や社会的基盤から形成されていることを理解する	◎		
			2 他者や共同体のあり方に自分がかかわっていることを自覚する	◎		
			3 真実に即した心のコントロールの必要性を十分理解できる			◎
外国の大学での短期研修	2	1・2	1 研修先の言語を、日常生活に支障ないレベルまで習得する	◎		
			2 大いに見聞を広め、さまざまな人々との交流を通じて、グローバル社会で生きていくために必要な異文化への理解、多様な価値観を身につける		◎	
			3 海外での生活体験を通じて、自立心や生活力、コミュニケーション能力を高める			◎
外国の大学での留学 S	4	1・2	1 英語を、実用的なレベルまで習得する	◎		
			2 大いに見聞を広め、さまざまな人々との交流を通じて、グローバル社会で生きていくために必要な異文化への理解、多様な価値観を身につける		◎	
			3 海外での生活体験を通じて、自立心や生活力、コミュニケーション能力を高める			◎
外国の大学での留学 A	4	1・2	1 英語を、実用的なレベルまで習得する	◎		
			2 大いに見聞を広め、さまざまな人々との交流を通じて、グローバル社会で生きていくために必要な異文化への理解、多様な価値観を身につける		◎	
			3 海外での生活体験を通じて、自立心や生活力、コミュニケーション能力を高める			◎

「ライフデザイン」分野 ミドルレベルディプロマポリシー			1-1 建学の精神に通じる思いやりの心を身につける						
			1-2 学びの基礎の学習を通して、学びの楽しさを理解する						
			2-1 生涯にわたり、自ら持続的に学ぶ姿勢を身につける						
			2-2 現実の中に問題を見つけ、自ら答えを見つける姿勢を身につける						
			3-1 能動的な学びを通じて、チームの一員として活動することができる						
			3-2 学んだ手法を社会の様々な局面で活かせる応用力・展開力を身につける						
科目名	単位	配当年次	科目の到達目標	ミドルレベルディプロマポリシーの項目番号					
				凡例	◎:MDP達成のために特に重要な目標	○:MDP達成のために重要な目標	1-1	1-2	2-1
							2-2	3-1	3-2
京都光華の学びⅠ	1	1	1 学期ごとに学習の目標設定、活動成果の収集・編集・発表ができる						
			2 学生生活に必要な情報活用方法を実践できる	○					◎
			3 書くこと、読むことの楽しさを知ることができる			◎			
京都光華の学びⅡ	1	1	1 自分のキャリアについて考えることができる			◎			
			2 自分にとっての企業を選択する基準を持つ				◎		
			3 就職活動の流れを理解できる					○	◎
ライフデザイン・コンピテンシーⅠ	2	1	1 プレゼンテーションを通して自己を知ることができる			◎			
			2 プレゼンテーションを通して自己を表現することができる		◎			○	
			3 プレゼンテーションの実践を通して、自己と他者の役割を正しく理解することで社会と交わることができる		○			◎	
ライフデザイン・コンピテンシーⅡ	2	1	1 地域と積極的に関わることができる	◎		○			
			2 地域が抱える問題について情報収集し、理解することができる	○			◎		
			3 地域が抱える問題について分析し、他者と共有することができる				○	◎	
ライフデザイン・コンピテンシーⅢ	1	2	1 未来を築く足掛かりとして、グループワークの重要性を理解することができる	○				◎	
			2 地域や企業が抱える問題に関して調査・分析に基づいて集約し、その要因を正しく認識することができる			○	◎		
			3 地域や企業が抱える問題に関して、グループワークを通して、その解決策を提案することができる				○		◎
ライフデザイン特論	1	2	1 課題に気付き自らの学習テーマとして取り上げることができる			○	◎		
			2 学習テーマに沿った調査をすることができる				◎		○
			3 調査結果の考察に基づくプレゼンテーション発表をすることができる				○		◎

「コミュニケーション」分野 ミドルレベルディプロマポリシー			1-1	思いやりの心を持って他者と接することができる											
			1-2	他者と交流することの楽しみ、喜びを知ることができる											
			2-1	多様な心の在り方と表現を理解することができる											
			2-2	現代社会の諸問題を理解し、より良い社会の在り方を考えることができる											
			3-1	他者と円滑な関係をとるための知識と技法を身につける											
			3-2	社会生活に必要な、傾聴力、発信力、働きかけ力を身につける											
科目名	単位	配当年次	科目の到達目標						ミドルレベルディプロマポリシーの項目番号						
									凡例 ◎:MDP達成のために特に重要な目標 ○:MDP達成のために重要な目標						
			1-1	1-2	2-1	2-2	3-1	3-2							
プレゼンテーション・セオリー	2	1	1	プレゼンテーション理論をビジネスの場面で有効に活用できる						○					◎
			2	さまざまなコミュニケーションの方法について場面に応じた使い分けができる								◎		○	
			3	コミュニケーション上の知識をもとに、情報伝達や説得ができる									○		◎
声と表現	2	1	1	自分の声や表現の癖を知り、人に伝える力を身につける										◎	◎
			2	発声の基礎を習得することで言いたいことを伝えることができる										◎	◎
			3	対話力を基礎とした言葉でのコミュニケーション力を身につける						◎					◎
笑いのコミュニケーション演習	2	1	1	笑いの構成、技法を理解することで、コミュニケーション能力の習得に役立てる						◎		◎			
			2	笑いのパターンを模倣することで、コミュニケーション能力の向上に役立てる								◎			◎
			3	笑いを創作することで、より実践的なコミュニケーション能力の習得と向上に役立てる							◎			◎	
カウンセリング理論	2	1	1	カウンセリングの基礎的知識を習得する						○				◎	
			2	ピアヘルピングの基本的知識と技能を習得する										◎	○
			3	日常生活における人との対話に役立つ技能を身につける							○				◎
カウンセリングスキル	2	1	1	カウンセリング理論を理解し、説明できる								○			◎
			2	カウンセリング技術を身につけ、教室内で実践できる										○	◎
			3	カウンセリングを日常生活で活用できる							○			◎	

ボランティア論	2	1	1 ボランティア活動について知る 2 愛他的精神を学ぶ 3 活動の始め方を理解する	◎	○				◎	
ホスピタリティ論	2	1	1 各種演習を通じてホスピタリティマインドの探求をすることによりその必要性を理解するとともに自身にある優しさにも気づくことができる 2 各種演習を通じてホスピタリティマインドに対する自身の意見を持つことができる 3 相手の状況に応じてホスピタリティマインドを適切に表現することができる	○	◎		○		◎	
臨床心理学	2	1	1 臨床心理学の基礎的な知識を得る 2 臨床心理学の主な理論の特徴を理解する 3 臨床心理学の主な理論を日常生活の中でも活かすことができる			◎	○		○	◎
女性の心と身体	2	1	1 女性のライフスタイルと健康について説明ができる 2 健康管理の実践に取り組むことができる 3 ライフプランを計画できる					○	○	◎
ジェンダー論	2	1	1 現代社会における性差について意識する 2 性差が生まれるプロセスを知る 3 男らしさや女らしさについての自分の意見を持つ			◎			◎	
女将論	2	1	1 女将の特性を理解することで日本女性の感性を養うことができる 2 女将の役割を学ぶことで具体的な立ち居振る舞いを身につけることができる 3 女将の特性を理解し、役割を学ぶことで外国人旅客への対応方法を学ぶことができる	◎			○		◎	○

「社会を学ぶ」分野 ミドルレベルディプロマポリシー			1-1 世の中のできごとを、社会の一員として共感を持って受け止める 1-2 社会を深く学ぶことが、自立につながり人生を豊かにすることを知る 2-1 世の中のさまざまな仕組みや動きなどを、幅広く理解する 2-2 何が問われているのか、何が大切なのかを、しっかり把握し判断できる 3-1 自立した社会人として必要な知識と感性を身につける 3-2 社会の一員として、主体性を持って責任ある行動や発言ができる							
科目名	単位	配当年次	科目の到達目標	ミドルレベルディプロマポリシーの項目番号						
				凡例 ◎:MDP達成のために特に重要な目標 ○:MDP達成のために重要な目標						
				1-1	1-2	2-1	2-2	3-1	3-2	
社会を知る	2	1	1 社会の仕組みや動きを理解する 2 社会の課題を見つけ、問題提起ができる 3 社会の一員と自覚し、課題の解決に向けて意見表明ができる	◎	○	◎	○			
女性のキャリアデザイン	2	1	1 自分は何が出来るのかについて考え、分析できるようになる 2 自分は何に価値を置くのかを考えられるようになる 3 自分が本当にやりたいことは何かについて考え、実践する		○		◎	◎		
環境問題	2	1	1 地球環境問題の現状について理解している 2 地球環境問題が起こった経緯を理解している 3 人類がめざすべき循環型社会について、正しい知識をもとに論じることができる	○		◎				◎
京の伝統文化を創る	1	1	1 取り上げる伝統文化を鑑賞し、その内容を理解することができる 2 取り上げる伝統文化の入門的水準のパフォーマンスを演じることができる 3 取り上げる伝統文化の体験を通して得たことを教訓とすることができる				◎	○	○	
マスメディア論	2	1	1 マスメディアの成り立ちと仕組みを理解する 2 マスメディアの変遷を見抜く 3 情報を相対化して受け取る			◎				◎
現代消費生活論	2	1	1 契約の基礎知識や消費者の権利を理解し、消費者トラブルに遭ったときの対処法を身につける 2 日常生活に伴う様々な商品を安全に活用するための知識を身につける 3 私たちの消費行動が世界に影響を与えていることを理解し、持続可能な社会発展のため、積極的に行動することの重要性を理解する			◎		◎	○	
サブカルチャー論	2	1	1 「妖怪」をうみだした背景を理解する 2 「サブカルチャー」諸領域への興味を深める 3 学問への興味を深め、研究意欲を高める		○	◎		◎		
社会学	2	1	1 社会学の基礎概念を理解する 2 社会学が対象とする多様な領域について理解する 3 社会学を現代社会の諸問題と結びつけて考えることができる	◎	○	◎				
くらしのなかの経済学	2	1	1 経済学全般の基礎概念と基本的な分析枠組みの概要を理解できる 2 家計・企業・政府といった経済主体、国内総生産・失業率等の経済指標、企業と市場との関係、景気や物価など経済現象の現状と背景について理解できる 3 くらしの中にある身の回りの出来事と経済学の関係を具体的に理解できる		○		◎			
学生が創る「学び」	2	1	1 Eコマースを運営することができる 2 Eコマースの運営を通して、社会の現状を認識できる 3 Eコマースを実践することで、社会で求められる人材を理解できる	○		◎	○			
京のくらし	2	1	1 京都に関するさまざまな分野の感性を磨く 2 名所・旧跡・文化への関心を高める 3 京都について自分なりの視点でまとめることができる	○	◎					◎

「ビジネス基礎」分野 ミドルレベルディプロマポリシー			1-1 TP0に応じた適切な行動・態度を身につける 1-2 社会で活躍しようとする高い志をもつことができる 2-1 ビジネス社会におけるさまざまなルールやマナーを理解する 2-2 女性を取り巻く現代社会の諸問題を理解し、より良い社会の在り方考えることができる 3-1 社会人として必要な基礎学力を身につける 3-2 自らのキャリアデザインを実現するための応用力を身につける							
科目名	単位	配当年次	科目の到達目標	ミドルレベルディプロマポリシーの項目番号						
				凡例 ◎:MDP達成のために特に重要な目標 ○:MDP達成のために重要な目標						
				1-1	1-2	2-1	2-2	3-1	3-2	
ビジネス実務演習	2	1	1 キャリアデザインを描くことができる 2 基本的な社内・社外文書を、体裁よく作成できる 3 情報の収集・活用・整理が的確にできる		◎			◎	◎	
秘書検定特講	2	1	1 秘書検定試験2級～準1級取得の実力を身につけることができる 2 様々な事例に対し、的確な状況対応ができる 3 自分中心ではなく、他者への配慮ができる	◎	◎		○			
ビジネス実務総論	2	2	1 ビジネス社会の組織における、変化に対応できる基礎的な教養、ビジネス実務を身につける 2 ビジネス社会の組織で必要とされる基本的知識、ビジネス実務を習得する 3 キャリアデザインを描くことができる			◎	◎			◎
簿記会計学	2	2	1 収入と支出のバランス感覚を身につける 2 企業の日常の取引の記帳技術を身につける 3 各種補助簿の記入及び、財務諸表の作成ができる					◎		
言葉と表現	2	1	1 場面に応じて、ふさわしい表現方法を選ぶことができる 2 必要な情報を効果的に相手に示すことができる 3 自分自身についての事柄を、客観的にわかりやすく人に伝えることができる	◎						◎
言葉の理解	2	1	1 日本語を表記する文字を適切に使うことができる 2 日本語の敬語表現を実践できる 3 場面に応じた日本語の表現ができる	◎		○		◎		
就職のためのベーシックスキル	2	1	1 就職に必要なリーディングスキルを修得する 2 就職に必要なライティングスキルを修得する 3 就職に必要なプレゼンテーションスキルを修得する		○			◎		
数の理解	2	1	1 手順を追って論理的に考える習慣をつけることができる 2 就職試験レベルの数学問題を解くことができる 3 数学の問題の解き方を他者に説明できる		◎			◎		

「情報基礎」分野 ミドルレベルディプロマポリシー			1-1	適切な情報倫理を身につける												
			1-2	意欲をもってICTの学習にとりくむことができる												
			2-1	ICT機器やアプリケーションの仕組みについて理解する												
			2-2	21世紀におけるICTの課題を理解し、これからの可能性を考えることができる												
			3-1	生活の中でパソコンを活用することができる知識と技術を身につける												
			3-2	ICTを活用した課題発見力・情報発信力を身につける												
科目名	単位	配 当 年 次	科目の到達目標	ミドルレベルディプロマポリシーの項目番号												
				凡例 ◎:MDP達成のために特に重要な目標 ○:MDP達成のために重要な目標												
				1-1	1-2	2-1	2-2	3-1	3-2							
コンピュータ概論	2	1	1	ICT社会において情報倫理をもとに適切なふるまいについて判断できる						◎				◎		
			2	数値や文字のデジタル化のしくみについて説明できる									◎		○	
			3	簡単な命令を組み合わせてのことによって複雑な命令を実行しているパソコンの仕組みについて説明できる									◎		○	
情報社会の未来を知る	2	1	1	これからの情報社会を特徴づける事項やキーワードについて説明できる									○		◎	
			2	情報社会の未来について自らの考えを表明することができる										◎		
			3	グループワークにおいて、自らの役割を自覚し積極的に貢献できる								◎				○
ワープロスキルⅠ	2	1	1	タッチタイピングのローマ字入力で5分間に600キー以上を正確に入力できる									○			◎
			2	日本語ワープロで基本編集(書式設定など)を用いて、文章を作成できる									○		◎	
			3	日本語ワープロで、表や地図を含むビジネス文書を作成できる										○		◎
ワープロスキルⅡ	2	1	1	日本語ワープロのさまざまな機能を必要に応じて利用できる									○		◎	
			2	日本語ワープロを使って、表や地図を含んだチラシを自らデザインし作成できる									○			◎
			3	日本語ワープロを使って、画像やSmartArtを含んだチラシを自らデザインし作成できる									○			◎
表計算スキルⅠ	2	1	1	表計算ソフトの基本的な操作(数式入力、書式設定)を用いて表を作成できる										○	◎	
			2	表計算を用いてグラフ(棒グラフ、折れ線グラフ、円グラフ)を作成できる								○			◎	
			3	絶対参照や簡単な関数を利用して、効率的な数式を作成できる									◎			○
表計算スキルⅡ	2	1	1	日付/時刻、文字列操作関数を用いて効率的に表を作成できる										○	◎	
			2	検索/行列、論理、統計、数学関数を用いてより便利な表を作成できる								○			◎	
			3	習得した関数を組み合わせて用いることにより、ビジネス現場の実践的な表を作成できる									◎			○
PC活用プレゼンテーション 演習	2	1	1	PowerPointを利用して、自らの考えを的確に表現する資料が作成できる									◎			○
			2	プレゼンテーションに用いる機能が持つ特性を利用しながら、効果的なプレゼンを作成できる								◎		◎		
			3	PowerPointを利用した効果的なプレゼンテーションの実践ができる										○		◎
インターネット演習	2	2	1	基本的なタグによって、文書の論理構造(見出し、段落、箇条書き)を設定できる									○		◎	
			2	スタイルシートによって、見た目のデザイン(写真のレイアウト、文字の色・大きさ)を設定できる									○			◎
			3	与えられた条件のホームページを所定の時間内に作成できる									○			◎

「グローバル」分野 ミドルレベルディプロマポリシー			1-1	自らが世界とつながっていることを実感し、世界のできごとに共感できる											
			1-2	国際社会の一員であることを自覚し、世界についての認識を高める											
			2-1	国際社会の動きや仕組みなど、世界に関する基礎的な知識を幅広く身につける											
			2-2	世界で何が問われているか、何が大切かを、しっかり把握し判断できる											
			3-1	グローバル社会の一員として必要な知識と感性を身につける											
			3-2	多様な人々とともに生きていくために必要な柔軟性と実行力を身につける											
科目名	単位	配 当 年 次	科目の到達目標				ミドルレベルディプロマポリシーの項目番号								
							凡例 ◎:MDP達成のために特に重要な目標 ○:MDP達成のために重要な目標								
							1-1	1-2	2-1	2-2	3-1	3-2			
英語Ⅰ	1	1	1	基礎的な文法を理解できる											○
			2	短い簡単な文章を理解できる											○
			3	単語や表現を結び付けて、短いメッセージを書くことができる											○
英語Ⅱ	1	1	1	観光に関する文章を読みながらその国の歴史や文化を学ぶ								○	◎		
			2	英文を声に出して読み、それを日本語に訳せるようになる											◎
			3	テキスト中の練習問題を解き、時間内に提出する											○
TOEICⅠ	2	1	1	辞書を活用しながら英単語の語彙力を高める											○
			2	英文を聴きながら、それを書き取れるようになる											○
			3	英文を日本語に、日本語を英語に置きかえ、コミュニケーション能力を高める											○ ◎
TOEICⅡ	2	1	1	5文型の区別ができる											○
			2	ビジネスシーンのベーシックな会話が聞き取れる											◎
			3	ビジネスシーンのベーシックな文章の大意を把握できる											◎
TOEICⅢ	2	2	1	文法を適切に使いこなすことができる											◎
			2	ビジネスシーンのベーシックな会話を聞き取り、理解できる											◎
			3	ビジネスシーンのベーシックな文章を正確に解釈できる									○		◎
中国語	1	1	1	中国語の基本的な発音ができる											○
			2	初歩的な会話を学ぶ											○
			3	語学の学習を通して異文化を知る								○	◎		
ハングル	1	1	1	韓国語で挨拶ができる								◎			○
			2	韓国語の短いフレーズを自力で読むことができ、簡単な単語を聞いて理解できる											○
			3	韓国語の発音及び文法の基礎が理解できる											○
日本語Ⅰ	1	1	1	読む・書く・話す・聞くの4技能の力をつける											◎
			2	新聞記事・論説文などを読解し、要約できる									◎		○
			3	文法的に正確な表現ができるようになる											○
日本語Ⅱ	1	1	1	読む・書く・話す・聞くの4技能の力をつける											◎
			2	新聞記事・論説文などを読解し、要約できる									◎		○
			3	話し言葉と書き言葉の使い分けができるようになる											◎
日本事情Ⅰ	1	1	1	日本についての基礎的な知識を身につける									◎	○	
			2	日本での生活で留意する点を理解する											○ ◎
			3	体験学習を通じて日本文化への理解を深める								◎	○		
日本事情Ⅱ	1	1	1	日本の伝統文化についての知識を身につける									◎	○	
			2	サブカルチャーなど、現代の日本についての理解を深める											◎ ○
			3	体験学習を通じて日本文化への理解を深める								◎	○		

「ファッション」分野 ミドルレベルディプロマポリシー			1-1	着る人の立場に立って、より良い衣生活環境の実現を考えることができる					
			1-2	おしゃれを通じた楽しみ、喜びを知ることができる					
			2-1	装い文化の多様性とファッションの変遷を理解する					
			2-2	現代のアパレル産業が持つ課題を認識して、持続可能な社会の実現に視点を向けることができる					
			3-1	ファッションビジネスに関わる基礎知識と簡単な技術を身につける					
			3-2	ファッションビジネス分野における簡単な企画提案ができる					
科目名	単位	配当年次	科目の到達目標	ミドルレベルディプロマポリシーの項目番号					
				凡例 ◎:MDP達成のために特に重要な目標 ○:MDP達成のために重要な目標					
				1-1	1-2	2-1	2-2	3-1	3-2
ファッションビジネス流通消費学	2	1	1 衣料品に関わる消費者行動の調査法とその実際を理解する	○				◎	
			2 衣料品に関わる生産流通の構造を理解する					◎	○
			3 衣料品に関わる消費者苦情と環境問題を理解する				○		
世界の服飾史	2	2	1 時代の変遷と服飾文化の変化が、互いに影響を及ぼしていることを理解する		○	◎			
			2 地域への文明及び文化の伝播と、服飾文化の伝播が非常に高い相関であることを理解する		○	◎			
			3 現代の社会生活においてファッションが非常に重要な役割を担っていることを理解する			◎	◎		
ファッションビジネス材料学	2	1	1 繊維の種類と性質を理解する					◎	
			2 糸及び布の種類と性質と製造に関する知識を得る					◎	
			3 糸及び布の染色加工に関する知識を得る					◎	
服作り演習	2	1	1 家庭洋裁に必要な縫製テクニック及びパターン知識を習得する		○			◎	
			2 一般衣料(スカート、ブラウス)の構造を理解し、制作完成できる					◎	
			3 工業製品である被服も本来は人の手による一作品であることを理解する		◎		○		
クチュール制作演習	2	2	1 想定したモデルに合った被服のデザインを考えることができる	◎				○	
			2 自分でデザインした企画を製品にするための素材選び・パターン設計・縫製ができる					◎	○
			3 完成した被服がデザイン通りであるかどうかの評価や考察ができる		○			◎	
ファッションビジネス製造学	2	1	1 衣料品の企画、設計、製造に関する知識を得る		○			◎	
			2 衣料品の品質要求内容と、消費性能力及びその試験法を理解する		○			◎	
			3 衣料品の品質管理と品質保証に関する知識を得る				○	◎	
ファッションコーディネート演習	2	1	1 自分自身の豊かさにつながるおしゃれの大切さを説明できる			◎			
			2 デザイン要素(色、素材、かたち)の各要点をふまえ、基本的なコーディネートが提案できる					○	○
			3 ファッションで人や店舗のイメージを表現できる		○				○
ファッションビジネス演習	2	1	1 "売れる商品"を選択もしくは企画制作するための素案を立案できる		◎				◎
			2 アパレル商品に関わる原価及び販売価格及び在庫に関する知識を習得する				○	◎	
			3 アパレル商品を選択もしくは企画制作し販売するまでのスケジュールを管理できる					○	◎

「ブライダル」分野 ミドルレベルディプロマポリシー			1-1	結婚式に関わるあらゆる人々たちとのつながりを大切に、結婚式に込められた思いに共感できる					
			1-2	ブライダルプロデュースを通じて、新郎新婦をサポートする喜びを知ることができる					
			2-1	婚礼の歴史と慣習について理解する					
			2-2	21世紀におけるブライダルビジネスの課題を理解し、これからの可能性を考えることができる					
			3-1	人生の一大イベントである結婚式をプロデュースするための知識と技術を身につける					
			3-2	ブライダルビジネスで必要とされるコミュニケーション能力、企画提案力を身につける					
科目名	単位	配当年次	科目の到達目標	ミドルレベルディプロマポリシーの項目番号					
				凡例 ◎:MDP達成のために特に重要な目標 ○:MDP達成のために重要な目標					
				1-1	1-2	2-1	2-2	3-1	3-2
ブライダル総論	2	1	1 授業で紹介するブライダルの基本的な用語を理解する			○		◎	
			2 ブライダル業界の職業について理解する		○		○		
			3 結婚・挙式・披露宴について自分の意見を述べることができる	◎					◎
ブライダル検定ベーシック	2	1	1 ブライダル実務に必要な一般常識を理解する			◎		○	
			2 ブライダルに関する最新の業界事情を理解する				◎		
			3 ブライダル業界で求められる人材像について述べることができる	○					◎
ブライダル演習	2	2	1 結婚式の企画立案に必要な基礎知識を習得する					◎	
			2 結婚について自分のオリジナルな意見を述べることができる	○			◎		
			3 模擬挙式開催に向け与えられた役割を果たすことができる					○	◎
ブライダル検定アドバンス	2	2	1 ブライダル実務に必要な一般常識を理解する			◎		○	
			2 ブライダルコーディネーターに必要な提案能力について説明できる						◎
			3 ブライダルコーディネートに必要な知識・技能について説明できる					◎	
ブライダル実務	2	1	1 ブライダルマーケットの概要を理解する				◎		
			2 1組の結婚式を構成する各アイテムの知識を習得する					◎	
			3 婚礼全般の基礎知識を習得する					◎	
ブライダルプロデュース	2	1	1 ブライダルマーケットと各アイテムの基礎知識を理解する				◎	○	
			2 作成した結婚式のコンセプトに沿って、様々なアイテムを駆使し結婚式をプランニングする	○	◎				
			3 1件の結婚式をプレゼンテーションする能力を身につける						○

「フード」分野 ミドルレベルディプロマポリシー			1-1	食べる人の立場に立って、健康的な食生活の実現を考えることができる					
			1-2	食事作りを通じた楽しみ、喜びを知ることができる					
			2-1	食文化の多様性と食の歴史を理解する					
			2-2	21世紀におけるフードビジネスの課題を理解し、これからの可能性を考えることができる					
			3-1	くらしを彩る食生活を実現するための知識と技術を身につける					
			3-2	フードビジネスにかかわる企画提案力、コーディネート力を身につける					
科目名	単位	配当年次	科目の到達目標	ミドルレベルディプロマポリシーの項目番号					
				凡例 ◎:MDP達成のために特に重要な目標 ○:MDP達成のために重要な目標					
				1-1	1-2	2-1	2-2	3-1	3-2
食品と調理	2	1	1 食品の特性(成分・機能・調理による変化)を説明できる	○				◎	
			2 食品の加工・調理方法(切る・加熱する・混ぜるなど)の基本を説明できる					◎	
			3 我が家の自慢料理についてまとめ発表できる		◎	○			
栄養と健康	2	1	1 栄養素の基礎知識を理解する					◎	
			2 栄養素の基礎知識をもとに、健康との関連を説明できる	◎				○	
			3 食生活を通しての「健康づくり」ができる	◎					
調理実習	2	1	1 調理の基本技術(切る・加熱する・混ぜるなど)を実践できる					◎	
			2 食品の特徴を理解し、食品に適した調理をすることができる					◎	
			3 主食・主菜・副菜がそろった献立を作成し、調理することができる	◎	○				
食文化演習	2	2	1 日本料理・西洋料理・中国料理・エスニック料理の特徴を説明できる			◎			
			2 世界の料理に関する知識をもとに、料理をつくることができる			○		◎	
			3 目的にふさわしいオリジナルメニューを提案し、調理・演出することができる	○					◎
製菓実習Ⅰ	2	1	1 製菓・製パンの基本となる材料の特徴を説明することが出来る	○				◎	
			2 製菓・製パンの基本技術を実践できる		○			◎	
			3 菓子やパンの食文化や歴史を説明できる			◎			
製菓実習Ⅱ	2	2	1 製菓・製パンに広く用いられる材料の特徴を説明することが出来る	○				◎	
			2 製菓・製パンの応用技術を実践できる		○			◎	
			3 テーマに沿ったオリジナル和菓子を創ることができる					◎	
食生活概論	2	1	1 日々の食生活の大切さを知る	◎	○				
			2 食生活全般の幅広い知識を習得する			○		◎	
			3 食生活アドバイザー3級試験合格に必要な知識を得る				○	◎	
フードビジネス論	2	2	1 料理を作る楽しさ、喜びを感じることができる		◎				
			2 現代食事情を理解する					◎	
			3 女性がフードビジネス分野へ進出するための全般的な知識を身につける				◎		◎
食空間コーディネート	2	2	1 食空間コーディネートの必要性和効果を理解する	◎					◎
			2 和食・洋食・中国料理の基本セッティングを行うことができる					◎	
			3 日本および世界の行事(歳時記や五節句など)にふさわしい食空間を演出できる			◎		◎	

「インテリア」分野 ミドルレベルディプロマポリシー				1-1 住まいの立場に立って、よりよい住環境の実現を考えることができる 1-2 インテリアを彩る楽しみ・喜びを知ることができる 2-1 住まいの歴史の変遷、世界の住文化の多様性を理解する 2-2 住まいを取り巻く社会問題を理解し、これからの課題と解決策について考えることができる 3-1 適切なインテリアを発想するための知識、技術、感性を身につける 3-2 インテリアにかかわる企画提案力、コーディネート力を身につける					
				ミドルレベルディプロマポリシーの項目番号 凡例 ◎:MDP達成のために特に重要な目標 ○:MDP達成のために重要な目標					
科目名	単位	配当年次	科目の到達目標						
				1-1	1-2	2-1	2-2	3-1	3-2
インテリアデザイン論	2	1	1 インテリアをデザインするための基本的な知識を習得する		○			◎	
			2 形と空間、色彩などについての知識を身につける		◎			○	
			3 自身の考えたインテリアについての提案ができる		○				◎
住居・インテリア設計製図実習	2	1	1 設計製図に必要な線の種類、引き方、縮尺がわかり、設計製図や室内透視図(パース)が描ける					◎	
			2 必要な家具配置と設計提案、造り付け家具計画、照明、空間計画、ウィンドーリートメント計画、内装仕上げ計画など、トータルなインテリアデザイン計画ができる				○		◎
			3 「インテリア設計士2級」資格検定試験受験のための設計技術力を身につける				○	◎	
インテリア模型制作演習	2	2	1 インテリアを彩る楽しみ・喜びを説明することができる		◎				
			2 インテリアにおける独自性のあるコンセプト作成ができる		○				◎
			3 インテリア模型により自らの設計案を説明できる						◎
インテリアパース演習	2	1	1 グリット法により平面図からインテリアパースを立ち上げることができる					◎	○
			2 家具を立体的に描くことができる					◎	○
			3 色鉛筆を用いてインテリアパースを彩色できる					◎	○
インテリア計画	2	2	1 西洋と日本のインテリアの歴史についての知識を習得する			◎			
			2 平面計画と環境、照明、人間工学、室内装飾に関する知識を身につける		○			◎	
			3 インテリアで用いる家具、材料、生産技術についての知識を身につける					◎	
インテリア設計士資格検定特講	1	2	1 インテリア製図の基礎を習得し、個人の居室の平面図、断面図、展開図、パース等を描けるようになる					◎	
			2 インテリアに関する設計論、造形基礎、歴史、計画、材料、構法、生産、エレメント、設備などの知識を得る					◎	
			3 インテリア設計士2級試験合格レベルの知識を効率よく習得する				○	◎	
住生活概論	2	1	1 生活者の立場に立った住まいのありかたについて説明できる	◎					
			2 住まいの成り立ちを説明できる			◎	○		
			3 住まいにおける住環境と生活文化の影響について説明できる			◎	○		
住居プランニング演習	2	1	1 プランニングに必要な不可欠な住宅の機能について説明できる	◎				○	
			2 住宅設計のプロセスと設計方法が説明できる					◎	○
			3 住宅に求める自分のイメージを図面に表現できる					◎	○
住生活史	2	2	1 住宅様式や住まい方の変遷に関する知識を身に付ける			◎		○	
			2 生活の中で現代に残る歴史・住宅、行事、慣習などに興味をもつ			◎	○		
			3 古の社会や生活状況に対する好奇心、想像力を養う		○	◎			
居住福祉論	2	1	1 居住者が自分らしい生活を送り、幸福と感えられるような住まいとは何かについて説明できる	◎					
			2 高齢者や障がい者にもやさしい住宅やまちには具体的にどのような工夫が必要か説明できる	○			◎		
			3 福祉・医療・建築が連携する実務資格「福祉住環境コーディネーター3級」の合格ラインに到達する	○				◎	

「デザイン企画」分野 ミドルレベルディプロマポリシー				1-1 人々が幸せと喜びを感じるデザインを考えることができる 1-2 デザインを通して、創造する楽しさ、喜びを感じることができる 2-1 時代の変化にもとまったデザインの変遷と発展を理解することができる 2-2 社会におけるデザインの役割と、これからの時代におけるデザインの理想像を描くことができる 3-1 創造性の高いデザインを考えることができ、それを磨き上げるスキルをもつことができる 3-2 新しい商品やサービスを生み出すための課題発見力や創造力を身につけることができる					
				ミドルレベルディプロマポリシーの項目番号 凡例 ◎:MDP達成のために特に重要な目標 ○:MDP達成のために重要な目標					
科目名	単位	配当年次	科目の到達目標						
				1-1	1-2	2-1	2-2	3-1	3-2
色彩の基礎	2	1	1 色彩の基礎知識をもとにした、配色する楽しさを説明できる	○	◎				
			2 社会における色彩の役割を考え、色彩計画が提案できる				◎		
			3 テーマに合わせたファッションやインテリアなどの配色ができる					◎	
色彩の応用	2	1	1 色彩理論に関する基礎知識と応用手法を説明できる					◎	
			2 様々な色彩調和論に基づいた配色技術を使うことができる					◎	
			3 ファッションビジネス・プロダクトデザイン・景観計画において具体的な色彩提案ができる				○		◎
造形基礎演習	2	1	1 色と形、色の微妙な差、配色、色を使うおもしろさ等を理解し、かつ表現できる		◎				
			2 時代の変化にも応えられる造形の基礎力をもつ				◎		
			3 装飾的な模様を自ら作り出し、作品としての完成度を高める					◎	
デザイン概論	2	1	1 デザインによって自らの思いを人に伝える楽しさを説明できる		◎				
			2 生活の各場面でデザインを活用した貢献を具体的に説明できる				◎		
			3 社会のニーズに即した新しいデザインやコンセプトを提案することができる			◎		◎	◎
商品企画論	2	1	1 デザインを創るためのコンセプトを導き出す楽しさを説明できる					◎	
			2 ユーザーや社会が求めているデザインコンセプトを考えることができる				◎		
			3 新しい視点でアイデアを考え、創造力豊かな商品やサービスを提案できる					◎	◎
ユニバーサルデザイン	2	1	1 すべての人が幸せに暮らせるユニバーサルデザインを考える喜びを説明できる	○	◎				
			2 社会におけるユニバーサルデザインの必要性を説明できる			◎	◎		
			3 社会での課題を見つけ、解決するためのユニバーサルデザインを考案できる					◎	○
ブランドデザイン	2	1	1 人々の生活に幸せと喜びを与えるブランドデザインを説明できる		◎				
			2 企業・社会におけるブランドの役割を説明することができる			◎	◎		
			3 課題発見力と想像力を発揮し、新しいブランドを提案することができる						◎
ユーザー体験価値デザイン	2	1	1 ユーザーエクスペリエンスを理解することができる	◎					
			2 3コマシナリオを活用してユーザーの経験を説明できるようになる	○		◎			
			3 ユーザーテストや行動観察の結果を分析し新しいUXを検討することができる					◎	○
パッケージデザイン演習	2	2	1 パッケージの役割と必要性を説明できる			◎			
			2 商品企画やユーザーの期待に適したパッケージを考えることができる				◎		
			3 パッケージの基礎知識をもとに目的に応じたパッケージを提案することができる					◎	◎
コンピュータグラフィックス演習	2	2	1 写真の色調・明るさ・コントラストの補正ができる					◎	
			2 写真に文字や図形を合成できる					◎	
			3 写真を編集して目的に応じたグリーティングカードやポスターを作成できる					◎	○

「医療事務」分野 ミドルレベルディプロマポリシー				1-1 患者に対する医療事務の重要性を理解し、思いやりの心を持って患者に接遇できる 1-2 医療事務の現状に関心を持ち、常に意欲をもって自らの知識・技能を更新できる 2-1 日本の医療制度のしくみと特徴を理解できる 2-2 社会問題の1つとして、医療・保険・介護の問題を捉えることができる 3-1 医療事務に携わるために必要な知識と技術を身につける 3-2 医療分野のチームの一員として貢献できるチームワーク力を身につける					
				ミドルレベルディプロマポリシーの項目番号 凡例 ◎:MDP達成のために特に重要な目標 ○:MDP達成のために重要な目標					
科目名	単位	配当年次	科目の到達目標						
				1-1	1-2	2-1	2-2	3-1	3-2
メディカルクラークⅠ	2	1	1 医療保険制度の基礎知識を理解できる			○		◎	
			2 診療報酬の基礎知識を理解し点数算定できる			○		◎	
			3 診療報酬明細書の記載要領を理解できる			○		◎	
メディカルクラークⅡ	2	1	1 医療機関において、患者接遇・受付の基礎ができる	◎					◎
			2 診療報酬の基礎知識を理解し点数算定できる			○		◎	
			3 診療報酬明細書の記載要領を理解できる			○		◎	
メディカルクラーク応用	1	1	1 診療録(カルテ)を正しく読むことができる					◎	○
			2 診療報酬明細書の読みを発見できる					◎	○
			3 医療事務技能審査試験に向け時間内に向けての解答ができる		○			◎	
ドクターズクラークⅠ	2	1	1 医療保険制度・医療関連法規を理解できる		◎	◎			
			2 医学一般・薬学一般を身につける		◎			◎	
			3 各種医療文書を作成できる					◎	○
ドクターズクラークⅡ	2	1	1 医療保険制度・医療関連法規を理解できる		◎	◎			
			2 医学一般・薬学一般を身につける		◎			◎	
			3 ヒューマンスキル・ビジネススキルを身につける	◎			◎		

調剤報酬請求事務	2	1	1	医療保険制度を理解できる			○		◎	
			2	診療報酬明細書の作成、点検ができる			○		◎	
			3	患者接遇と受付業務を身につける	◎		○		◎	◎
ケアクラーク	2	1	1	介護保険制度の基礎知識を理解できる			○		◎	
			2	介護報酬を理解し介護給付費の算定ができる			○		◎	
			3	介護給付費明細書の記載要領を理解できる			○		◎	

「エンターテインメント」分野 ミドルレベルディプロマポリシー			1-1	エンターテインメント作品を楽しむ人の立場に立って、よりよいエンターテイメントを考えることができる						
			1-2	エンターテインメント作品を通じて楽しみ、喜びを知ることができる						
			2-1	エンターテインメントの多様性とその変遷を理解する						
			2-2	社会生活の充実を目指したエンターテインメント業界の課題を理解し、今後の可能性を考えることができる						
			3-1	社会生活を楽しむエンターテインメントを実現するための知識と手法を身につける						
			3-2	エンターテインメントビジネスにかかわる創造力、柔軟性を身につける						

科目名	単位	配当年次	科目の到達目標			ミドルレベルディプロマポリシーの項目番号					
						凡例 ◎:MDP達成のために特に重要な目標 ○:MDP達成のために重要な目標					
						1-1	1-2	2-1	2-2	3-1	3-2
エンターテインメント論Ⅰ	2	1	1	男性アイドル界における構造と仕組みを理解する			○	◎			
			2	男性アイドル界における戦術と戦略を理解する				○	◎		
			3	男性アイドル界におけるコンテンツのコンセプトを理解する						○	◎
エンターテインメント論Ⅱ	2	1	1	日本のアニメ映画界の現状を理解する			○	◎			
			2	日本のアニメ映画界の戦術と戦略を理解する				○	◎		
			3	日本のアニメ映画における作品のコンセプトを理解する						○	◎
女性と放送業界	2	1	1	放送業界で働く女性の職種と仕事内容を理解する				◎			○
			2	女性の働く職場として放送業界の現状と問題点を理解する				◎	◎		
			3	放送業界で働く女性の職種から自己の適性を考える						◎	○
映画を視る・映画を創る	1	1	1	古今東西の映画を視聴し、作品の魅力について理解する		◎	◎				
			2	古今東西の映画について、その撮影・編集のテクニックについて理解する						◎	
			3	映画作成の手法を駆使して簡単な作品を撮影・編集することができる						◎	◎
カメラ演習	2	1	1	デジタルカメラの絞り・シャッタースピード等を操作してイメージした写真を撮影できる			○			◎	
			2	デジタルカメラの撮影知識と技法を修得し、それを応用できる		◎				◎	
			3	編集ソフトを使った画像編集方法を修得し、それを応用できる			◎			◎	

「観光」分野 ミドルレベルディプロマポリシー			1-1	観光を通じて、ホスピタリティの大切さを知ることができる						
			1-2	旅にある癒しや楽しさを伝えることができる						
			2-1	観光の歴史、現状を理解し、将来の展望を考えることができる						
			2-2	観光を通して環境問題など社会が抱える諸問題を考えることができる						
			3-1	時代にふさわしい観光を実現するための知識と技術を身につける						
			3-2	さまざまな趣向・目的に応じた観光を提案するための情報収集力と企画力を身につける						

科目名	単位	配当年次	科目の到達目標			ミドルレベルディプロマポリシーの項目番号					
						凡例 ◎:MDP達成のために特に重要な目標 ○:MDP達成のために重要な目標					
						1-1	1-2	2-1	2-2	3-1	3-2
観光概論	2	1	1	観光の歴史、現状、将来展望が理解できる				○	◎		
			2	観光の現状、将来展望について自分の意見を持つことができる		○		○			
			3	観光の将来展望、未来像を自分の意見としてわかりやすく伝えることができる			◎			○	
京都学	2	1	1	時代ごとの京都の変遷を理解する			◎	○			
			2	歴史的なできごとと京都の文化・景観との関連性を理解する				◎	○		
			3	さまざまな資・史料から京都の特徴を発見し、自らの言葉で説明する力を身につける			○				◎
観光ビジネス実務総論	2	1	1	観光業に関わる業務の概要や、求められる知識・能力について理解できる		◎				○	
			2	観光に関するビジネス実務を理解し、その課題を知ることができる						○	
			3	観光ビジネス実務の課題について自分の意見を持つことができる			○			◎	○
ホテルビジネス実務	2	1	1	日本における航空ビジネスの歴史・成り立ちを理解できる				◎		○	
			2	日本におけるホテルビジネスの歴史・成り立ちを理解できる				◎		○	
			3	航空・ホテル関連ビジネスの実務知識を身につける			○			◎	
観光事業論	2	2	1	観光関連資源、施設、事業の実態や現状、今後の課題が理解できる		◎			○		
			2	観光に関する課題について情報を集め、分析・検討できる					◎	○	
			3	観光に関する課題を自分の言葉で説明できるようになる					○		◎
観光・ビジネスのための英語	2	1	1	観光やビジネスにおいて英語を活用するために必要となる基礎知識を説明できる		○				○	
			2	観光やビジネスで必要となる短い英語のフレーズを聞いて理解できる						◎	
			3	観光やビジネスで必要となる基本的な会話が英語でできるようになる		○				◎	